



〈校訓〉 和魂 協調する人
行 自主性のある人
進んで行く人

清流



第143号
発行: 広島市立三和中学校
編集: 広報委員会



雨にも負けず 風にも負けず 自転車です!!

「目標という扉」を開けるんだ。

広島市立三和中学校 校長 河野裕二

中学生の頃、私は勉強が苦手だった。本を読むことも苦手だった。24歳の時、やっと体育の教師にはなれたけれど、実は私は運動も苦手だった。中学生の頃、私は倒立もできなかった、バスケットボールもへたくそだった。そして、私は全く泳げないカナヅチだった。少し得意だったこととしたら、友達より少し速く走れたことだ。でも、目標を持つと何かが変わる。自分の中で何かが変わった。

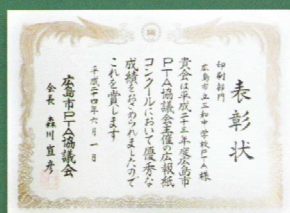
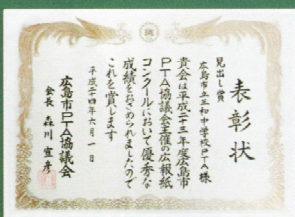
私はあるつらい経験をして体育の教師になろうと決意した。自分で扉を開けた。だから、勉強を始めた。本も読み始めた。最も苦手な英語もラジオ講座を聴きながら勉強した。朝早く起きて田舎の道を30分以上走ったりもした。夜、弟に見てもらって近くの川で一生懸命に泳ぐ練習をした。全ては、体育の先生になりたいという目標のため。

25Mの面かぶりクロールが出来たのは大学2年生。背泳ぎが出来たようになったのは大学4年生。必死で頑張った。みんな何故かすいすい泳げるのかと思った。倒立して手で歩けるようになったのは体育の教師になってからだ。もちろん前方倒立回転はもっとその後だった。

みんな、目標を持つとう。目標が全てではないが、目標がなければ人は変われない。目標を持てば、人は変われる存在だ。過去は過去。今を誠実に生きよう。そして未来はみんなのためにある。まず、目標を持つことだ。自分が、どう頑張りたいかがはっきり見えてくる。

春夏秋冬

三和中学校の広報紙「清流」が広島市PTA協議会の広報紙コンクールで3年連続で優秀賞を受賞、今回は見出し賞もいただきました!!



広報委員の皆さんの紙面作りへの並々ならぬ熱意を感じております。他の委員会の皆さんもそれぞれの委員会活動にご尽力くださり活発な活動が行われております。PTA会員の皆様のご理解ご協力をいただき生徒、保護者、学校、三者の様子が見えて、何よりも生徒が楽しく学校生活が送れる、それを支えるPTAでありたいと考えています。今後のPTA行事への参加よろしくお願い致します。

PTA執行部 副会長 三浦 幸子